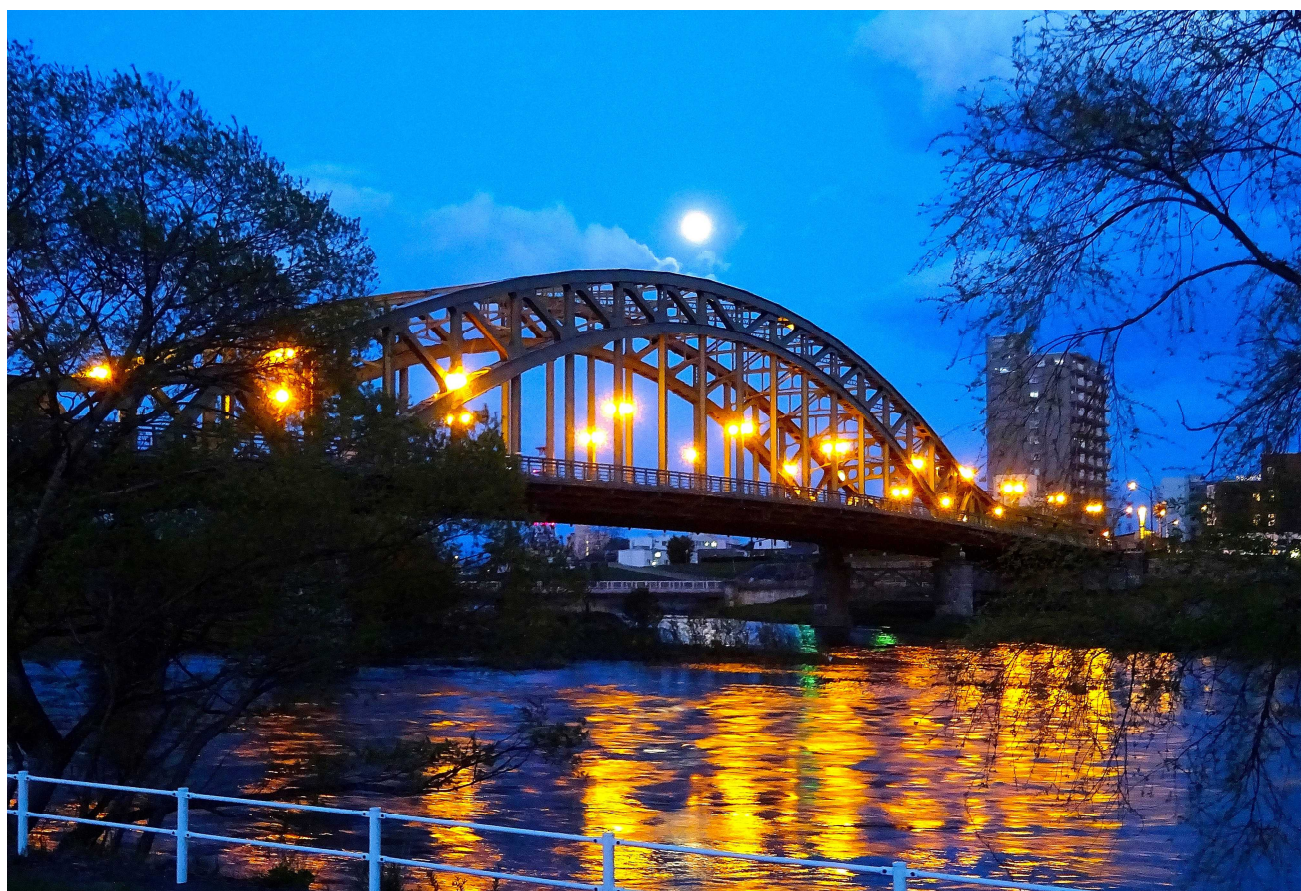


2022年度

あさひかわオープンカレッジ連携講座

報 告 集



〔撮影〕 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム 教育コーディネーター 白井暢明

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

共催：旭川市教育委員会

刊行にあたり

まずは今年度も「あさひかわオープンカレッジ」を開講できたことを喜びたい。これも関係者各位，講師を引き受けてくださった先生がた，受講生諸氏のおかげである。

私たちの生活が新型コロナウイルスの影響を受けるようになってからすでに3年に及ぶ。この講座を開催するにあたって、あいかわらず参加者にはマスク着用をお願いせざるを得ないし、事前の検温や消毒が欠かせない状況である。それでも少しずつパンデミック前の日常を取り戻しつつあるなか、街がにぎやかさを増すにつれて、オープンカレッジの会場も次第に活気づいて来たように思われる。

今年度は初めての試みとして前期・後期に分けての2期開催とした。一昨年からは実施している平日開催とあわせて、開講時期や曜日の選択肢が広がることとなり、おかげで例年になく多くの方々にご参加いただいた。会場の都合や新型コロナウイルス感染予防等の必要はあるにせよ、今後の進展によっては参加者数の上限を現在の30名から引き上げることも検討せねばならないと、誠に嬉しい次第である。今後とも本講座をどうかよろしく願いたい。

北海道教育大学旭川校 教授 十枝内 康隆

目 次

第1回「身の回りに広がる数学の世界」 旭川工業高等専門学校 助教 佐藤 直飛	・・・ 2
第2回「生命倫理について～医療における人間の生と死の問題 ―哲学・倫理学の視点から考える～」 元名寄市立大学 教授 白井 暢明	・・・ 4
第3回「認知症予防と運動について～健康で豊かに歳を重ねる秘訣とは～」 旭川大学 助教 三谷 美江	・・・ 6
第4回「理論言語学ってどんな学問？」 旭川医科大学医学部 准教授 戸塚 将	・・・ 9
第5回「三浦綾子記念文学館／その建築と環境」 東海大学 名誉教授 大矢 二郎	・・・ 11
第6回「Let's Enjoy English Sounds and Rhythm! (英語の音とリズムを楽しもう!)」 北海道教育大学旭川校 教授 笠原 究	・・・ 13
「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果 サテライトキャンパス Uープラザ事務局	・・・ 15

「身の回りに広がる数学の世界」

2022 年 6 月 25 日（土）13 時 30 分～14 時 30 分
旭川工業高等専門学校 助教 佐藤 直飛

私たちは、学校教育を通して算数・数学にずいぶんと慣れ親しんできました。多くの人は、小学校の 6 年間、中学校の 3 年間、高等学校の 3 年間の計 12 年もの期間、数学を学んできたことと思います。しかしその割には、数学を学んで何の意味があったのか？数学はいったい何の役に立つというのか？といった感情を抱いている人がほとんどなのではないでしょうか。（中には恨みを持っている人もいますか！？）日本においては一般的に、数学は学校を卒業したら役に立たないもので、せいぜい受験やいわゆる論理的思考能力の涵養に役立つくらいだと思われている状況です。そこで、「皆さんに数学をもっとより身近に感じていただきたい」という趣旨でこの講演を準備しました。数学の機能を理解したり、日常生活に関わる身近な数学の話題に触れたり、世の中で活躍する数学のパワーの一端を垣間見たりすることにより、数学への見方や考え方が変わることを期待しています。

講演では、ギリシャ哲学者プラトンを紹介し、数学の教育の歴史から紐解いていきました。歴史といえど社会でまなぶ日本や世界の歴史を連想してしまうと思いますが、私たちのそれぞれの人生に歴史があるように、それぞれの学問にはそれぞれの成り立ちの歴史があります。そういった学問の成り立ちに触れることで学問をより身近に感じていただけるのではないかと意図して、数学の教育の歴史を紹介しました。

さらに、「数学の 3 つの様態」と題して、数学の機能について紹介しました。一般的に、学校での教育や受験数学の影響もあり、「数学＝計算」といったイメージが強いと思います。講演では、①言語としての数学、②道具としての数学、③対象としての数学という 3 つの数学の様態を説明し、数学の広汎な機能について紹介しました。数学というメガネを通して日常生活を眺めてみれば、新しい風景が見えてくるものと思います。

講演の後半では、数学というメガネを通して世界を眺めるということの一つの具体例として、絵画鑑賞を行いました。講演の時期にちょうど北海道近代美術館でフェルメール展を行っていたこともあり、フェルメールの作品を皆さん

と鑑賞し、絵画の中に数学的な構造が潜んでいることを発見しました。数学的な視点が、皆さんの鑑賞や創作の幅を広げることになれば幸いです。

講演の最後には、「近道」をキーワードにさまざまな問題にチャレンジしてもらいました。音楽には鑑賞と演奏の楽しみがあるように、数学にも知識を学ぶ楽しみだけでなく、実際に手を動かして考える楽しみがあります。問題演習を通して、数学の問題解決の考え方について一緒に考えました。最後はAIに関連する問題を出題し、数学はデータ分析やAI技術を支える学問になっていることを紹介しました。数学と社会生活の関わりについて認識している人の割合はそう多くはありませんが、近年の発展が目覚ましいAI分野をはじめ、数学は現在社会のいたるところで縁の下の力持ちとして生かされています。今回の講演を通して、少しでも数学を身近に感じていただけたなら講演者として大変嬉しく思います。



「生命倫理について～医療における人間の生と死の問題 —哲学・倫理の観点から考える～」

2022年7月18日(月)13時30分～15時30分

元名寄市立大学 教授 白井 暢明

【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

医療の本質について、従来は「病気を発見し、治療する」といういわば技術的側面が重視されていたが、近年の医療技術の発展とともに「生と死」に関する考察や見解も深まり、その倫理的な側面が重視されるようになってきた。そのきっかけの一つは、植物状態の患者や治療不可能で苦痛を伴う患者に対する「安楽死」の措置をめぐるいくつかの事例があり、その妥当性が世界的に問われるようになったことである。即ち、医療において「人間の生」をどう理解するかに関わる倫理的な視点・考察が重視されるようになったということである。

生命倫理的考察において重要な三つの原則がある。その第一は「自己決定権の重視」であり、生死も含めて治療法に関する患者の意思を尊重すべきであるという考え方（パターナリズムからインフォームド・コンセントへ）である。第二は、「パーソン論」であり、これは「人間の本質は肉体よりもむしろ精神や理性にある（生命の質の重視）」という考え方である。そして第三は、「人間の生命の神聖性」、即ち人間の生命それ自体は神から与えられた神聖なものであるという考え方である。

ところで、この三つの原則は原理的に相互に矛盾・対立する側面をもっており、そのどれを重視するかによって特定の治療法や医学的措置の妥当性についての判断が異なる場合が多い。「人工妊娠中絶」、「脳死を前提にした心臓移植」、「安楽死」などについても、この三つのうちのどの原理を重視するかによって、それぞれについての判断は大きく異なるものとなる。

例えば、「人工妊娠中絶」を例に挙げるとすれば、中絶の判断を母親の「自己決定権」に属するものと考えれば、それは状況にかかわらず承認され得るし、「パーソン論」の立場に立てば、特定の妊娠時期以前の胎児はまだ精神を持たず、人間とは言えないからという理由で中絶は承認されることになる。しかし、他方で「生命の神聖性」の立場からすれば、胎児はすでに人間であり、その命を人工的に断つことは、時期のいかんにかかわらず「殺人」に相当するものとして否定されることになる。

ところで、今のところこれらの原則・判断のうちのどれが正しいかを定める絶対的基準はない。従って、医療に関わる多くの判断・処置は技術的な観点と同時に、その判断が「どの原則に立っているか？」についての自覚とそれに基づく倫理的な観点から総合的に、それぞれのケースの独自性を十分に意識しつ

つ行われなければならない。

「生命倫理」とは、人間の生命について、二つの危険性、即ち、一方ではそれを単に生物学的な生とみなすことの危険性、そして他方では、人間の生命の「質」を他者が判定し決定することの危険性、この二つを強く意識しつつ医療の様々なケースにおいて深く考察することを求めるものである。



「認知症予防と運動について ～健康で豊かに歳を重ねる秘訣とは～」

2022 年 8 月 20 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分
旭川大学 助教 三谷 美江

＜はじめに＞

人生 100 年時代と言われる昨今、「健康で豊かに歳を重ねていきたい」と望む方は多いのではないのでしょうか。運動不足は認知症発症の危険因子のひとつです。歩行機能と認知症のメカニズムをわかりやすく、身近で簡単な運動不足解消法についてご紹介しました。さらに、日常生活で他者と交流を図る大切さや脳の血流を増やす方法について参加者と一緒に考えました。

＜歩行機能と軽度認知障害(MCI)との関連＞

軽度認知障害（MCI）をご存じでしょうか。軽度認知障害（MCI）とは、簡単に言うと、正常と認知症の中間の状態であり、認知症予備軍とも言われている一方で、軽度認知障害（MCI）の約 3 人に 1 人は認知症を発症しない、もしくは、正常域に戻ることが知られています。歩行能力の低下は、認知症の発症リスクを高めるため、早い段階で気づき予防していくことが重要となります。

認知症の発症率と運動との関連性を調べた研究は数多く存在しており、厚生労働省では、健康寿命の延伸を目的に高齢者が社会活動への参加促進や身体活動を増やすための取り組みを推奨しています。

＜脳の血流を増やすには＞

よく歩く人の方が認知機能テストの成績が良かったという研究結果に基づき、イラストを提示しながら、歩行機能と脳の血流のメカニズムについてご紹介しました。

では、普段よりも速度を上げて頑張って歩行すべきかと言いますと、実際にはそうではありません。普通で歩いても海馬の血流が増加したと報告があるように、無理をせずに普通で歩くと認知症の予防に効果的だと言われています。このほかに、2 重課題歩行のご紹介や認知症予防のレクリエーションを行いました。レクリエーション後には、注意力と思考力に加

え体を動かすという多重課題に挑戦することや、交流を楽しむことが脳の血流を増やすのに役立つなど、参加者間で活発な意見交換がなされました。

<健康日本 21 の取り組み>

厚生労働省の「健康づくりのための身体活動基準 2013」によると、21 世紀における国民健康づくり運動の取り組みの一環として、生活習慣病の予防を図り、健康的で心豊かに暮らすことのできる健康寿命の延伸を目指すことを提唱しています。2014 年の調査では、1997 年に比べて 1 日 1000 歩ほど平均歩数が減少しており、付け加えますと、この 1000 歩は約 10 分間の歩行に相当することがわかっています。特に働き盛りの年代では運動習慣のある者の割合が少ないことや、車社会であることも理由の一つです。認知症発症の危険因子はいくつもありますが、身体活動量を増やすことは高齢者にとっても様々な健康効果をもたらしてくれます。

<+10（プラス・テン）から始めましょう>

+10（プラス・テン）とは、「普段よりも 10 分多めにからだを動かすこと」であり、生活習慣病や認知症の発症などを低下させることが期待できます。厚生労働省が提唱する身体活動は、「運動」と「生活活動」に分けられ、「生活活動」とは、日常生活における労働であり、普段の生活のなかでおこなわれる家事や庭づくり、孫の世話や趣味などが含まれます。

からだを動かす機会や環境は身の回りにたくさんありますので、まずは、普段の生活のなかで体を動かす機会に“気づくこと”から始めてみましょう。

では、毎日ちょっとした工夫で+10（プラス・テン）の具体例を見てみましょう。

- ① エレベーターを使う → 階段を使う。
- ② 車を入口付近に駐車 → 敢えて遠い所に駐車する。
- ③ テレビのリモコンで操作 → テレビ本体で操作する。
- ④ 近所の方との交流 → いつもより長めに交流をする。など…

※少しずつ体を動かす機会をつくり、1 日のうち全部で 10 分程度になれば良いのです。無理なく、できる範囲内で、そして長く続けることが大切です。

<まとめ>

- ・歩行機能を維持することは認知症の予防につながる。
- ・運動不足の解消法の一つとして、普段よりも10分余分に何かをすることを心掛ける。
- ・認知症を予防するには、運動のほかに、普段の家事や庭づくりなど、自身の好きなことや楽しいと思うことを長く続けることが大切である。



「理論言語学ってどんな学問？」

2022 年 9 月 23 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分

旭川医科大学医学部 准教授 戸塚 将

理論言語学とは、「人間のことば」というものを通して人間の本質について探求する学問です。人間のことばを探求するためには、私たちが、ここでは主に日本語が母語であることを想定していますが、日本語を話したり、書いたり、読んだり、聞いたりするのに用いる「ことばの知識」を解明する必要があります。ことばの知識を解明するためには、明示的な言語学的モデルを提示することが重要です。自然科学の研究では、事象のデータを分析するためには理論が必要ですが、ことばの知識を分析するための理論を作るのが理論言語学の目的の一つです。

この理論を作る方法は自然科学の研究方法と同じです。言語データ、これは実際の言語が使用された場面での発話、文献資料、母語話者の判断から、これらのデータを説明する仮説を導き出し、その仮説からさらなるデータを検証し、仮説の妥当性を高めていくという方法です。このようにして言語理論は作られていき、ことばの知識の解明、さらには人間の本質を探究しようとしています。

今回ことばの知識として紹介した事例は、人間のことばには構造がある、というものがあります。私たちはことばを聞いたとき（書かれたものでもいいですが）に、発せられる音（もしくは書かれた文字）とその意味を理解することができます。実はこの音と意味を結び付けるものが存在しています。これが構造と呼ばれるものです。音で聞いたり、文字で見たりすると、ことばは線形的な列でしかないと思います。しかしながら、実際には構造が存在しているのです。具定例として、「頭が赤い魚を食べる猫」という表現を紹介しました。この表現はいろいろな意味を持ちますが、その意味がどのようにして生まれるかというと、それぞれの語がどのように結びついているかが重要です。この結びつきを捉えるためには構造という考え方が大切であることを紹介しました（実際の解釈については web で検索してみてください）。他に英語と日本語の代名詞の解釈についても紹介しました。詳細についてはここでは述べませんが、面白いのは英語と日本語の代名詞の解釈については構造による関係が働いていること、この構造関係は両言語に共通であることを見ました。これにより一見すると違

う言語として捉えてしまう英語と日本語ですが、これらは構造を持つという共通点があり、人間のことばには構造があるということがより説得力を持って説明できることになります。

もう一つ紹介した事例は、人間のことばの移動という特性と目に見えない要素についてです。英語の wh 疑問文, *What did you buy?* では buy の目的語を問う疑問文です。この buy の目的語のところに what がありそれが文頭に移動していると考えられます。このとき元々 buy の目的語の場所には文頭に移動した what があったことを示す痕跡という（最近の理論ではコピーと呼ばれる）ものが生じます。この痕跡があるということを示す事例として wanna 縮約という現象を見ました。この目に見えない要素がことばの知識に含まれるのであれば、ことばを獲得しようとする赤ちゃんはどのようにしてこの目に見えない要素を認識するのでしょうか？このような問いにも理論言語学は答えようとしています。

普段何気なく使っている私たちのことばには人間の本質を知る上でのヒントが隠されています。皆さんもことばについて改めて関心を持っていただければと思います。



「三浦綾子記念文学館／その建築と環境」

2022 年 10 月 22 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

東海大学 名誉教授 大矢 二郎

【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】

三浦綾子（1922 年～1999 年）は 1964 年、朝日新聞社の 1 千万円懸賞小説に応募した処女作「氷点」が 1 席に入選、以来、終生、旭川を拠点に作家活動を続けた。1998 年、市民運動の成果として旭川市神楽にある外国樹種見本林内に民設・民営の三浦綾子記念文学館が建設されたが、作家の生誕 100 周年記念にあたる今年、建設に携わった者として、「建築としての文学館」を振り返ることにした。

文学館と見本林

文学館の敷地が神楽の見本林にあることには特別の意味がある。その林が小説「氷点」の舞台になっているからだ。来館者は、小説を読んで抱いたイメージと、自ら林内を散策して感じたものを重ね合わせて、再度、物語の世界に帰ってゆく。館の設計に当たり、建築と周辺環境との関係づけに特に気を配ったのは当然の成り行きであった。館内で各種展示物を鑑賞しながら、目を上げると見本林の景観に触れられる仕掛け（喫茶室、階段の踊り場、2 階の展望室の開口部）、あるいは分館（2018 年建設）の「氷点」常設展示室に設けた林を望む窓などがその例である。

外国樹種見本林はヨーロッパアカマツ、ストロブマツなどの樹種が北海道に根付くか否かを検証するため 1898 年に苗木が植えられたのが始まり。奇しくも文学館が建てられたのは見本林設置 100 周年を記念する年であった。現在、林野庁北海道森林管理局が管轄する国有林だが、広く市民に開放される「嵐山・神居自然休養林」の一翼を構成していて、その点で、文学館の敷地として林地の一部を貸与することに国側の基本的な障害はなかったと思われる。とは言え、建設に当たり 100 年生の樹木は伐採しないことが条件となった。幸い、林の入口近くに、かつて売店が建っていた空地があり、そこを含むおよそ 1000 m²の林地を借用することができ、延べ床面積約 700 m²の文学館（本館）の建設が実現した。

分館の建設

2014年10月、永く三浦綾子の作家活動を支えてきた夫君・三浦光世館長が逝去、翌年、豊岡に在った同氏の土地と家屋が三浦綾子記念文化財団に遺贈された。検討の結果、文学館設立20周年記念事業の一環として本館の隣接地に分館を建設し、「氷点」の常設展示室、多目的室の新設、および旧居にあった「口述筆記の書斎」を解体・復元することになった。2017年9月、筆者を委員長とする分館建設委員会が設置され、多くの視点から検討が加えられた結果、翌年8月、木造平屋建て腰折れ屋根、床面積約128㎡の分館が完成した。多目的室は当初、会議や集会等の用途にも供されたが、現在は主にカフェとして使われている。屋根に覆われた木製ベランダを介して見本林が観望できる大きな窓と、コーナーに置いた薪ストーブがこの部屋を特徴づけている。三浦綾子文学の原点といえる「氷点」、「続氷点」を紹介する常設展示室は小屋組みを見せる勾配天井にし、隣接する「口述筆記の書斎」の低い天井と対比させた。

2019年には本館外壁に沿って約100㎡の野外喫茶ウッドデッキを設置、雪のない季節には濃緑色のパラソルの下、見本林の木立を眺めながらコーヒーを楽しむ環境が整った。



「Let's Enjoy English Sounds and Rhythm!

(英語の音とリズムを楽しもう!)」

2022年11月5日(土) 13時30分～15時30分

北海道教育大学旭川校 教授 笠原 究

本講座は英語特有の音、リズムや音の変化について、早口言葉やマザーグース、英語の歌などを通じて受講者の皆様に楽しんでいただき、今後の英語学習に役立てていただきたいの目的で開催しました。内容は1. 英語の発声方法、2. 個々の音レベル、3. 単語レベル、4. 文レベル、5. 英語の音の変化、の5点で、受講者の皆様に体験しながら取り組んでもらうワークショップ形式で行いました。

1つめの「発声方法」では、日本語は口先に近いところで音を作り、一音一音をはっきり区切るように発生するのに対し、英語では喉の方で音を作り、切らずに連続して発生することを説明しました。次に音の出し方の違いを体感していただきました。

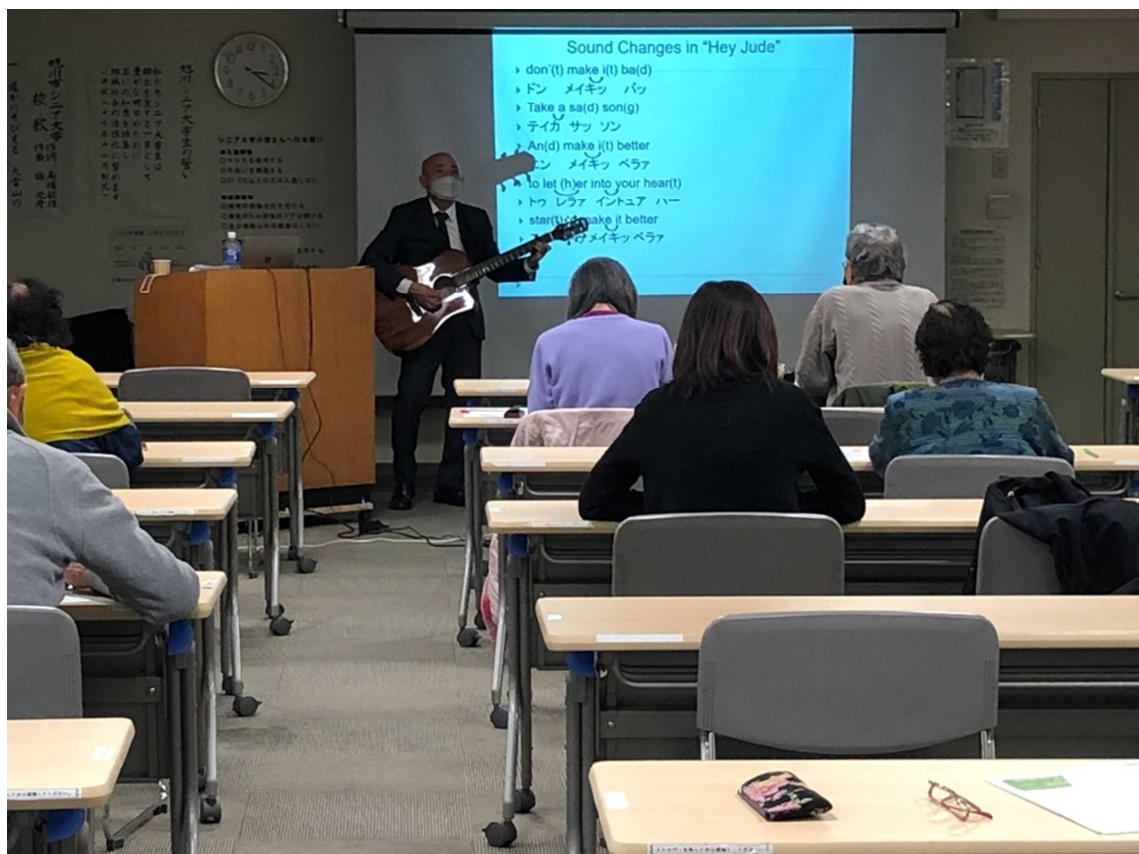
2つ目の「個々の音レベル」では日本語に存在しない音の練習として、[r], [f], [ʃ], [θ]などの音の出し方を日本語の似た音との違いを感じながら練習してもらいました。例えば[r]は日本語のラ行音と違い、舌先は硬口蓋の上部に触れません。まず大きくあくびをしてもらい、舌先をちょっと上げて、そのまま「ウー」と発生すると英語の[r]の音に近くなります。この状態で日本語の「ラリルレロ」を言ってもらくと、日本語との違いがよくわかります。

3つ目の「単語レベル」では、一息で言える音のかたまり、すなわち音節が日本語と英語では全く異なることを意識してもらいました。日本語は基本的に一文字が一音節を表します。カタカナの「ストレス」は4音節、「ストライク」は5音節になりますが、英語の stress, strike は一音節です。ですから、「ポン」と一息で言わなければいけません。2音節以上の単語には強く長く発声する強勢のある音節と、短く弱く発声する音節があります。stud・y であれば「ポン・ポ」というリズムで、a・rrive であれば「ポ・ポン」というリズムで発声します。

4つ目の「文レベル」では、強勢のある部分が等間隔で現われるように読むことが英語のリズムである(stress-timed rhythm)ことを説明しました。日本語はすべての音節に同じ強さ、長さを与えて読みます(syllable-timed rhythm)。

文における英語のリズムを体感してもらうために、(1) Susan talks to boys. (2) Susan will talk to a boy. (3) Susan will be talking to her boyfriend. という3つの文を、全く同じリズムで読むように練習してもらいました。また、”This is the house that Jack built.” というマザーグースの歌を、リズムに気を付けながら読んでもらいました。

最後に「短縮・弱化・消失・連結・同化」といった英語の音の変化（音の崩れ）について説明をしました。こうした音の崩れを練習してもらうために、ビートルズの Hey Jude をみんなで歌いました。私の拙いギター伴奏で歌っていただきましたが、皆さんが楽しんで歌っていただけたようで、大変うれしく思いました。本日の講座で学んでいただいたことが、多少なりとも受講者の皆様の英語学習のお役に立てば幸いです。

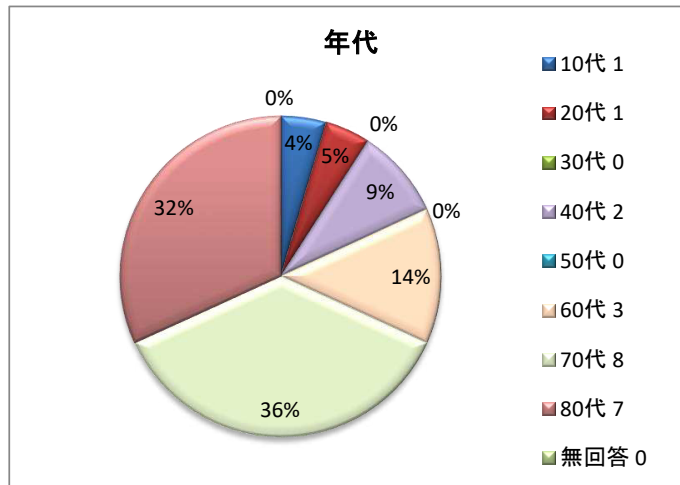


「あさひかわオープンカレッジ」アンケート実施結果

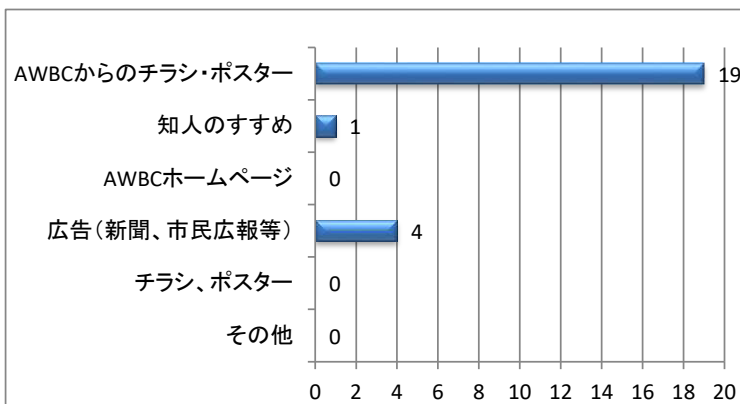
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔前期〕」
 ①「身の回りに広がる数学の世界」（06/25（土）13：30～14：30開催）アンケート結果

受講生 22名 回答者 22名
 回答率 100%

問 1. あなたのことを教えてください。



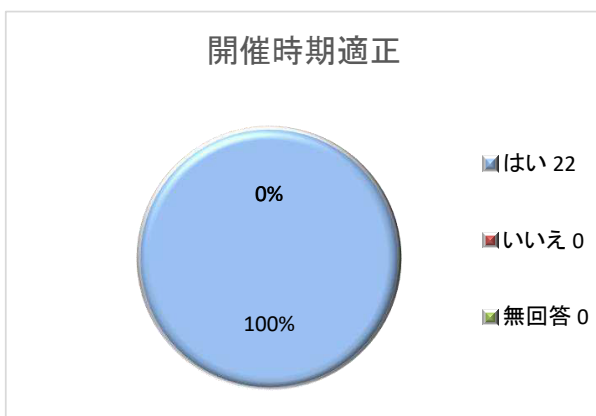
問 2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。（複数回答可）



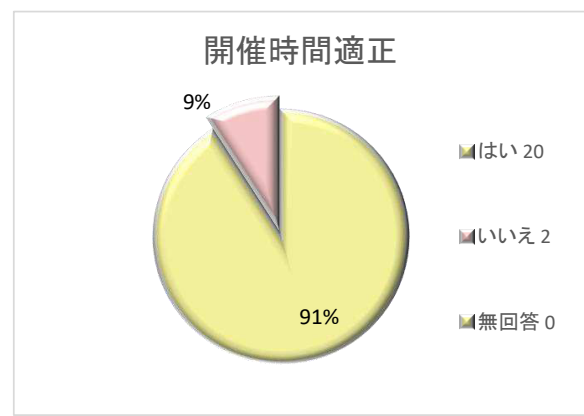
【備考】

○あさひばし
 ○akar i
 ○道新まちかど情報

問 3. 開催時期は適切ですか。



問 4. 開催時間は適切ですか。



○14時頃

○10時頃

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- 東欧文化
- 韓国や中国のお話し
- 科学をテーマにしたもの
- 若い人は都会へ、旭川市内は特に中心部はデパートもなくなり、買い物も何処へ行ったらよいのやら困っている。この状況の改善をテーマに？
- 数学を道具としての暗号（記号？）作成について
- 未来の街づくりについて。住みよい街をつくるには、何が大切かなどをテーマの講座

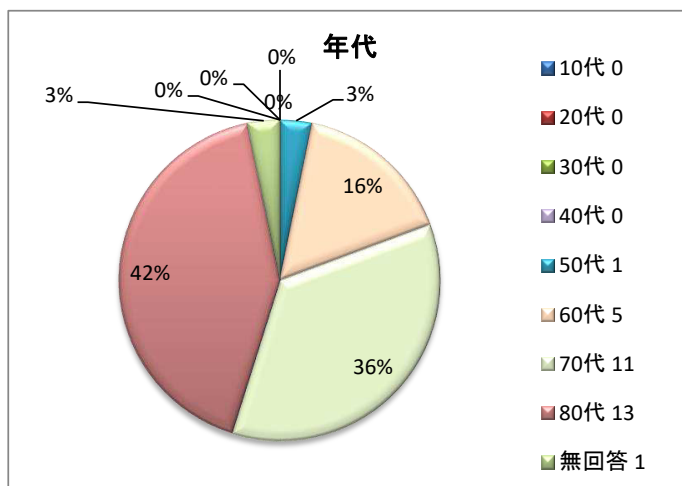
問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 難しかった
- 中高生にも聞かせたいと思いました
- 分かりやすく良かった。他の教科でもやってほしい
- 若い人、シニア世代が共生でき、未来に希望のある旭川の街づくりを考えていきたいのですが？
- 高齢者として理解が難しかった
- 大変有意義な時間でした。数式の無い数学のお話は面白かった
- 今日の講義で、絵画の見方もわかり易くなりました。・今日はとても面白かった。日常と結びつけて数学を考えることができた。・時間は出やすい時間でちょうどよい。・時期は6月でいいが、7.8月は歩くのには暑く、また室内のクーラーも効きすぎていることから6月最終の早い時期がいい
- この人間社会に真実が存在しない

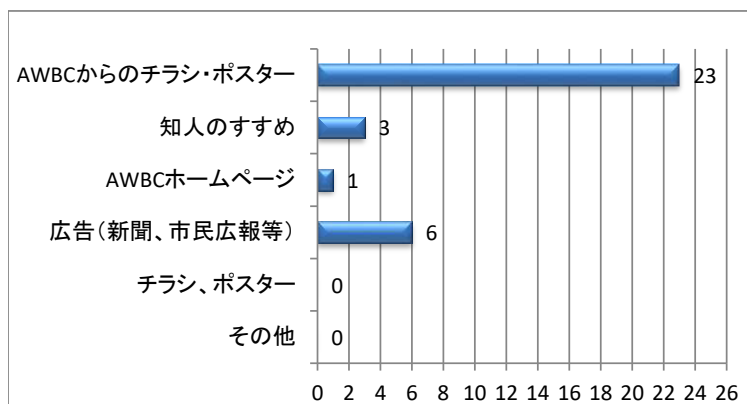
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔前期〕」
 ②「生命倫理」について～医療における人間の生と死の問題—哲学・倫理学の視点から考える～
 (07/18 (月) 13:30～15:30開催) アンケート結果

受講生 31名 回答者 31名
 回答率 100%

問1. あなたのことを教えてください。



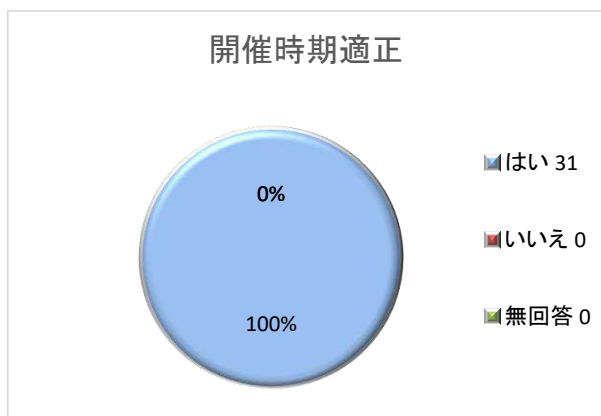
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



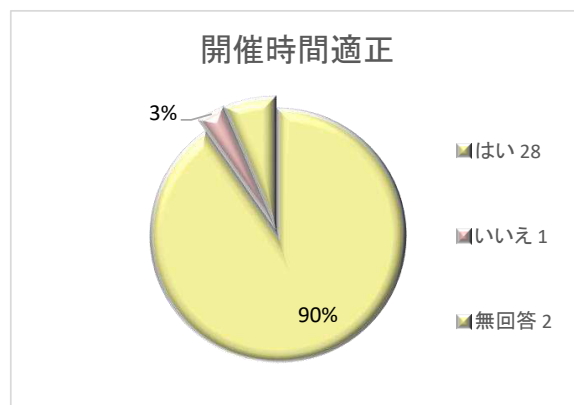
【備考】

○あさひばし
 ○道新まちかど情報

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○10時頃

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ○動物(人間)とウィルスの共存について | ○将来の「まちづくり」の課題と展望 |
| ○人間は何故戦争をするのか。なぜ戦争を止められないのか | ○後期高齢者の日常生活の過ごし方 |
| ○人間の「心」について詳しく知りたい | ○旭川市の今後の展望 |
| ○家族との関わり等 | ○脳死と献体の問題について |
| ○「平和」をどう考えるか | ○緩和ケアの詳細(実際の担当者) |
| ○宗教について | ○介護保険制度 |
| ○哲学 | ○健康に関すること |

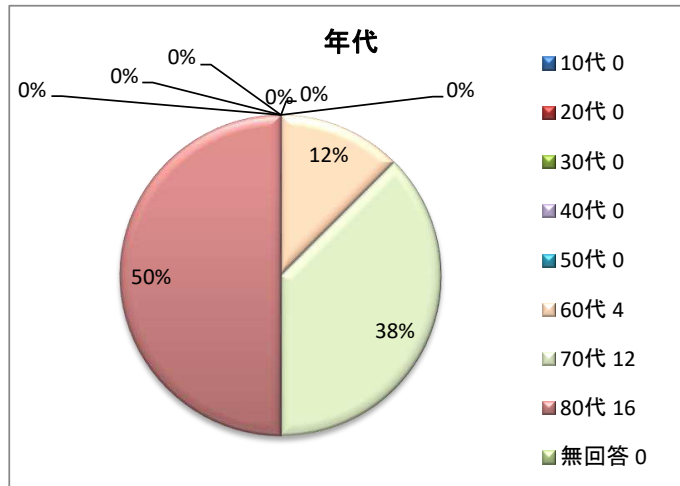
問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 東洋思想(仏教等)では、自殺は悪ではない。生は自己責任なので、自殺は、自然のことではないでしょうか
- 良い話をありがとうございます。「死」をおそれない事にします
- 白井先生の講義は、初めてでしたが、大きな声ではっきりと話されとても聞きやすく感激しました。また、機会があれば勉強させて戴きたいと思いました
- 今日のお話の中に、古くて新しい問題が見え隠れしていましたね
- 勉強になりました。また、機会があれば受講したいです
- 大変良いお話を聞きました。良かったです
- とても良い講義で倫理観について自分なりに考える良いきっかけになりました
- 日本人は、なぜこんなに堕胎が多いのか、人口が減ってしまっても何も言えないのではないかな?
- 緩和ケアは今後大きく伸びていくのでしょうか?
- 生命倫理について、課題を整理できました
- 分かりやすい説明で、大変勉強になりました
- 赤い文字が多すぎて見づらい。講師の話のテンポが非常に聴きやすかった
- 今日のテーマ、お話しがとても良かった。生きる基本の生と死についてよくわかりました
- 初めての参加です。500円でとてもいい刺激をいただき、頭の中も少し活性化しました

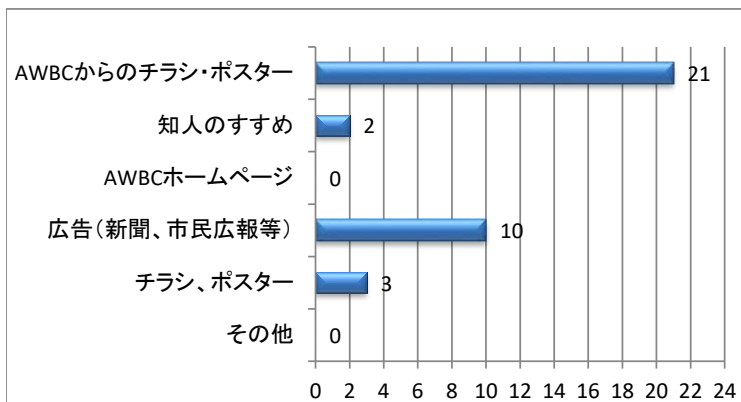
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔前期〕」
 ③「認知症予防と運動について～健康で豊かに歳を重ねる秘訣とは～」
 (08/20(土) 13:30～15:30開催) アンケート結果

受講生 38名 回答者 32名
 回答率 84%

問1. あなたのことを教えてください。



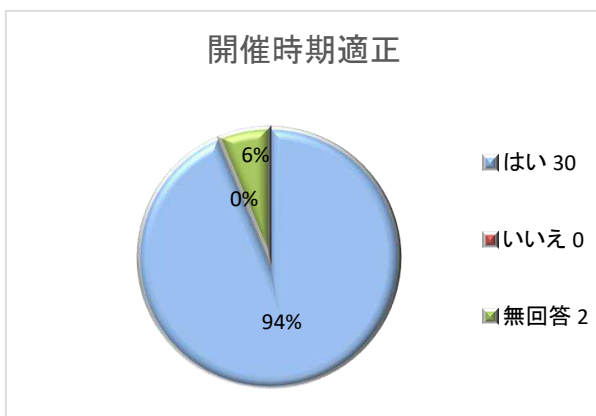
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



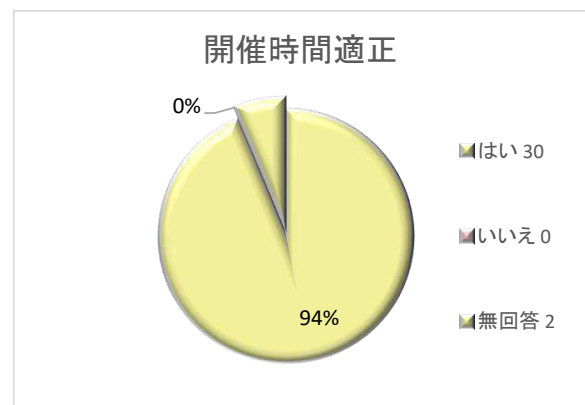
【備考】

- あさひばし
- 道新まちかど情報

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ○リハビリ体操 | ○高齢者の社会における役割(今後元気な高齢者が増えるため) |
| ○収納について | ○整理・整頓と終活について |
| ○認知症予防のためのパズル等の紹介や具体的な運動の紹介 | ○コロナウィルス予防について |
| ○顔や喉の筋肉の鍛え方 | ○1日の栄養バランスについて |
| ○認知症の対応要領について | ○目・鼻・膝・胃・腸・歯などの病気について |
| ○「旭川市ここにあり」と全国・全世界の方々が訪ねてくるようになる方策 | ○パソコン・タブレット・スマートホンを生活・仕事にスムーズに使いこなしたい |
| ○食品の摂取と添加物について(種類と活用方法はどんなものがあるかや安全な食品の基準) | |

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 受講者の咳が気になった。受講者で、マスクをはずして話す人がいた
- いいレクリエーションでした
- 後方の席が聞こえづらかった。平らな会場ではなく、階段教室的な会場でマイク調整をして実施が望ましい。ビデオ映像が、後方では見づらい。講師の音声は最後尾には聞こえにくかった
- 講義前に、マイクのテストをして欲しい。前半は聞き取りづらかった。後半はよく聞こえた
- 何時も楽しく聞かせてもらっている。この歳(80代)になっても勉強になります
- 厚生労働省が推奨している、運動の目安については、特に勉強になった
- 年をとっても働きたいので、土曜日・日曜日のセミナー開催はうれしく思います
- 日本は障がい者を作り出す社会。誰でもが障がいの有無に関わらず、自立して生活できる社会になればならない。介護予防ではなく、生涯学習、生涯現役で過ごせる環境の構築が望まれる
- 老後生活の楽しみ方、考え方の参考にさせていただきます。ありがとうございました
- 使いたい文字を思い出せない(文章作成時の不便・国名、都市名などなど…、知人の氏名、有名人の氏名)良い方法はありますか

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔後期〕」

④「理論言語学ってどんな学問？」

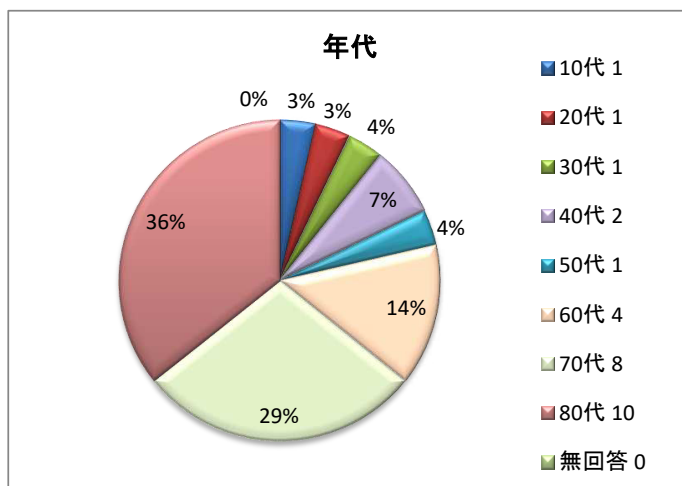
(09/23 (金) 13:30~15:30開催) アンケート結果

受講生 29名

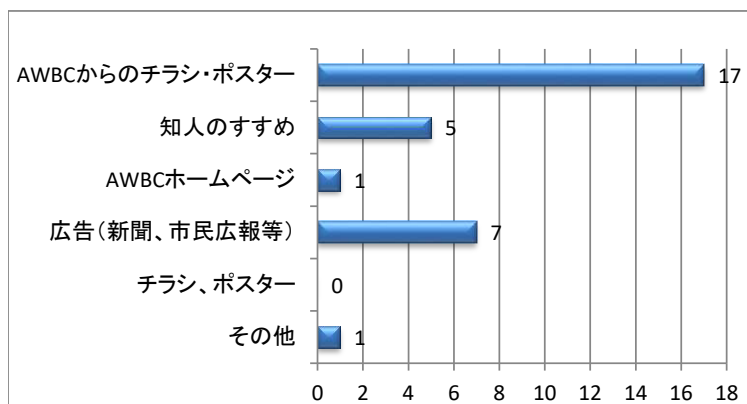
回答者 28名

回答率 97%

問1. あなたのことを教えてください。



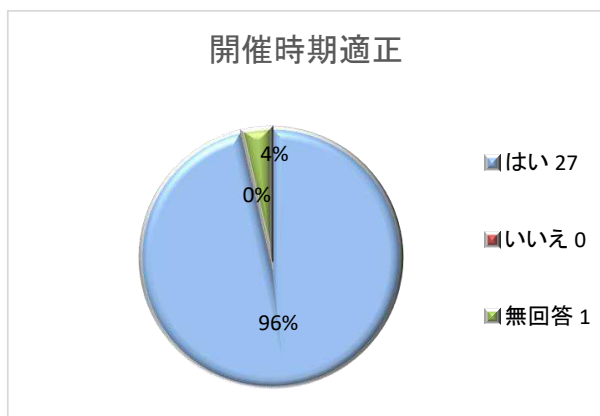
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



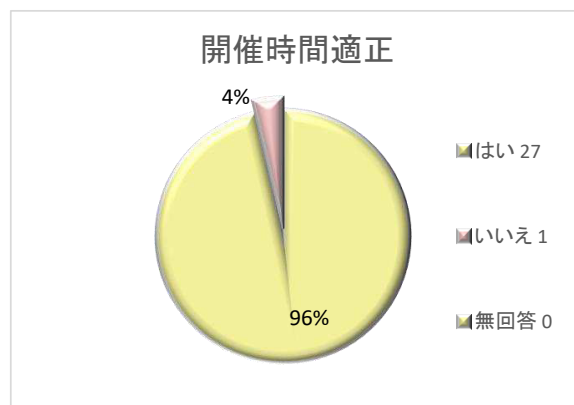
【備考】

○あさひばし

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



○16:00頃から

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

- ドイツ語
- 星座に関すること
- 脾臓に関すること
- 脳科学（感情のメカニズムなど）
- 哲学・論理学・心理学といった学問に関し、
何かテーマを一つに絞った講座
- 宇宙のお話し

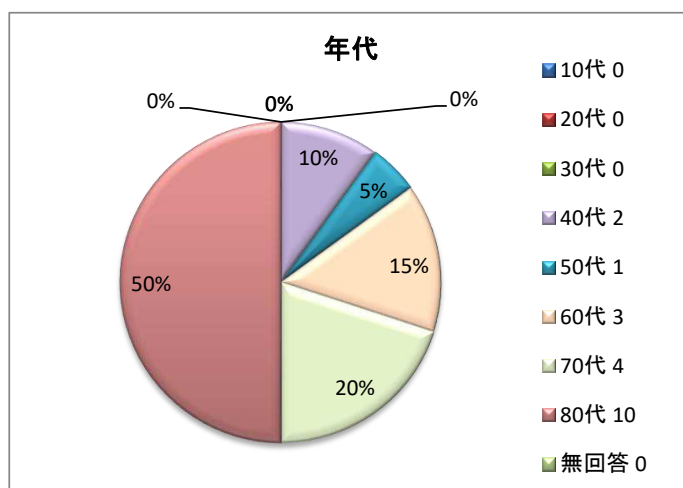
問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

- 勉強になりました。ありがとうございました
- 初めて聞く言葉にひかれて今日は、参加しました。あまりよく分かりませんでした
- かなり高級なお話しでした。楽しいひと時でした
- 大変興味深い講座でした
- 本日はありがとうございました。84才の頭では難しかったです。言葉に構造があるとは初めて学習しました
- 教室が暑くて講義に集中できなかった。身近ではないテーマであったが、とても楽しかった
- 毎回楽しく拝聴しています。ムズカシイ……
- 講義開始後45分～60分で休憩を入れてほしい
- 今回の講座において、英語と日本語の比較を3つ目に説明していたが、むしろこれは、最後に説明いただいた方が良かったように思います。それは、代名詞の解釈が難しかったことが理由です
- 生涯学習の場に興味があり参加しました。言語習得は、経験学習と感じていたので、新しい知識を得ることができました。英語と日本語の文法の違いから、同時通訳者の技量や訓練に興味を持ちました
- 難しい話で十分理解できませんでしたが、人間の言語の発達について、今の研究がどうしているのか少しわかり勉強になりました
- 講義の内容が私には難かすぎました。言葉というものを通して人間の本質を探究する学問というところに興味を持って臨みましたが、私の頭ではよく理解できませんでした
- 日常と言語、人間と言語を深めてほしかった。シニアの日常に必要な言語について聞きたかった
- 難しいお話しでした。耳が少し遠いこともあり理解しがたかった

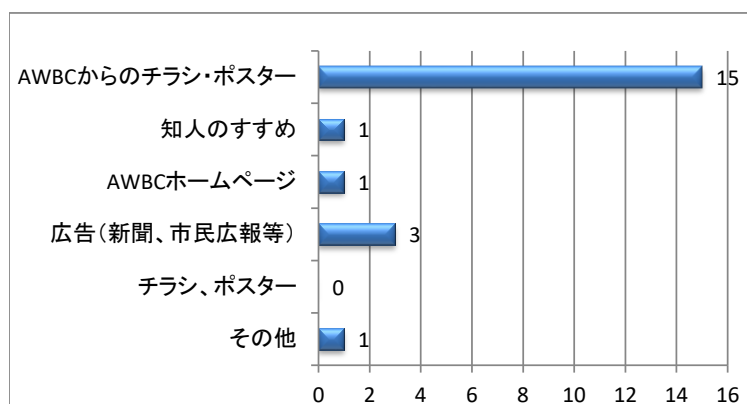
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔後期〕」
 ⑤「三浦綾子記念文学館／その建築と環境」
 (10/22 (土) 13:30～15:30開催) アンケート結果

受講生 20名 回答者 20名
 回答率 100%

問 1. あなたのことを教えてください。



問 2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)

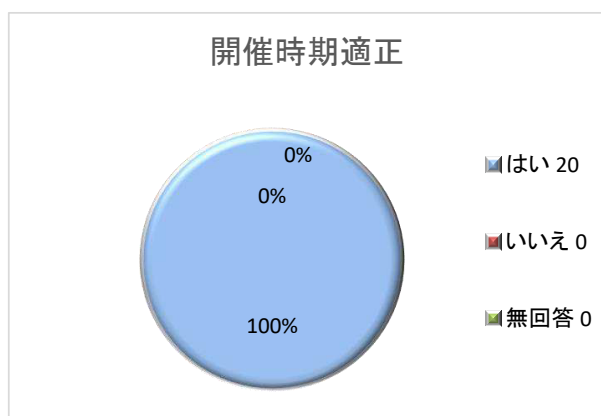


【備考】

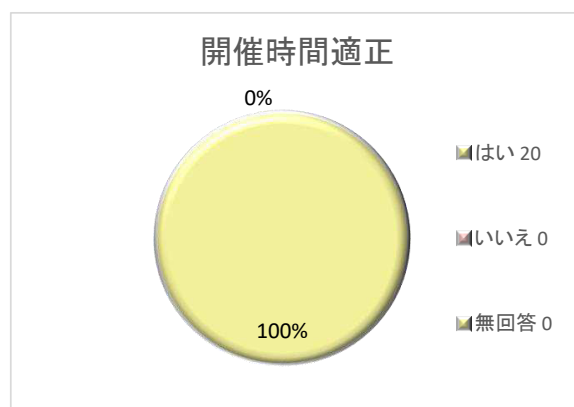
○あさひばし
 ○道新まちかど情報

○旭川市HP

問 3. 開催時期は適切ですか。



問 4. 開催時間は適切ですか。



問 5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

○世界の駅舎(大矢先生に)

○雪を利用した日常生活

○相続の事

○老後の生活不安について(老後の選択が決められない。私はひとりですので、自宅が希望ですが、どこにお世話になるか決められません)

問 6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

○旭川に長年居住していながら、三浦綾子さんの作品を読んでいないことを反省し、現在読書中です

○白金インフォメーションセンターは何度も行ったことがあるのですが、今日のお話しで改めて、考えるところがありました

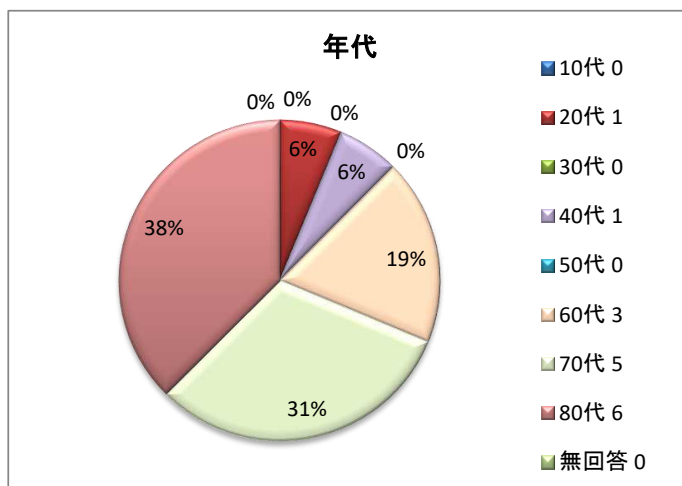
○案内して下さる講座にはできるだけ出席したいとおもっております。今日の建築のお話しは、非常によくわかり、今度記念館に行くときには、改めていろいろな点について観ようと思いました

○楽しいお話しありがとうございます。改めて、文学館に足を運びたいと思いました

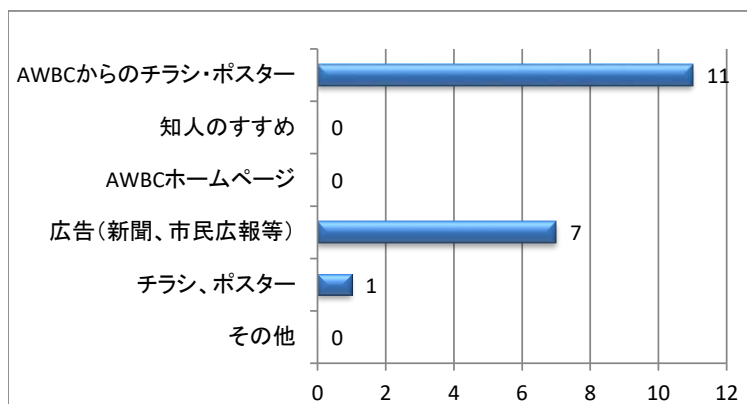
旭川ウェルビーイング・コンソーシアム「あさひかわオープンカレッジ〔後期〕」
 ⑥「Let's Enjoy English Sounds and Rhythm! (英語の音とリズムを楽しもう!)」
 (11/5(土) 13:30~15:30開催) アンケート結果

受講生 16名 回答者 16名
 回答率 100%

問1. あなたのことを教えてください。



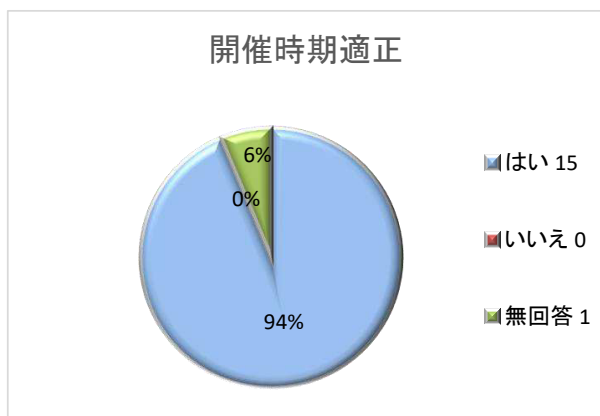
問2. 本講座の開催はどのようにして知りましたか。(複数回答可)



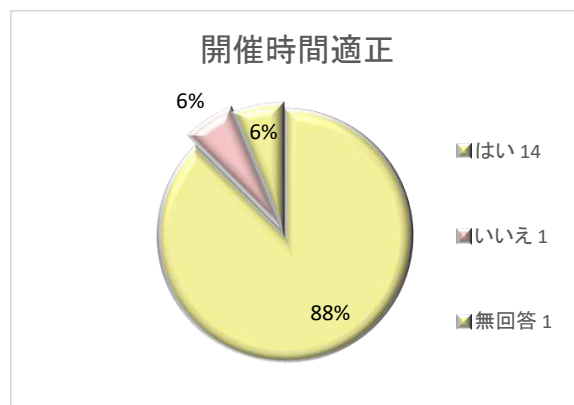
【備考】

○あさひばし
 ○道新まちかど情報
 ○あかり

問3. 開催時期は適切ですか。



問4. 開催時間は適切ですか。



15:00から

問5. 今後希望する講座のテーマをお書きください。

○イギリス英語・米英語[(ネイティブスピーカーの人たち)英米人は、どちらもしっかり分かっているのか? 例えばrucksack、backpack etc(リュックサック) movie, theater]

○後期高齢者の役割とは?

○能について

○英語で楽しむ映画

○英米文学など

○フランス語

○英語の音とリズムを楽しもうパートⅡ

○中国語を楽しもう・韓国語を楽しもう

問6. その他ご感想、ご意見、ご要望があればお書き下さい。

○日頃なじみがなかったり、考えたりすることがないようなことに触れて、考えたり納得したりすることがあり、大変ためになります

○(ネイティブスピーカーの人たち)英米人は、どちらもしっかり分かっているのか? 例えばrucksack、backpack etc (リュックサック) movie, theater。僕は米英語を基本にしたいと思っています

○普段英語の音の出し方、口や舌動きなどあまり意識していなかったのですが、今日は、これまで使っていなかった、口の周りの筋肉をたくさん使うことができました。これからも、音読やシャドーイングのときに、意識していきたいです。ありがとうございました

○英語とても面白かったです。これから少し学んでみたいと思います

○いつも楽しいまた未知の世界ありがとうございました

○英語は全くダメでした、残念なり!

○全く内容を知らず参加いたしました。でも楽しかったです。日本語で失礼

○とても有意義でした

○大変楽しくてありがとうございました

○開いてくださる講座は、なんのジャンルでも受けたいと思います。今日の英語の講座は、今まで聴いたことのない勉強したことのないもので、とても楽しく授業を受けることができました。また機会があれば、開いていただきたくお願いいたします。ギター伴奏が素晴らしかったです

○楽しく勉強になりました。先生の多才さにびっくりしました

○とても楽しく参考になるお話しでした。講義の仕方もわかりやすく、楽しく飽きさせないものでした。ありがとうございました

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
連携公開講座 2022
旭川市教育委員会共催
「あさひかわオープンカレッジ」報告集

2023 年 1 月発行

編集・発行：一般社団法人旭川ウェルビーイング・
コンソーシアム
旭川市教育委員会